

わたしたちの町と成田空港 vol.29

町の北側に位置する成田空港は、昭和53年の開港以来、航空需要の拡大や航空ネットワークの強化などに伴い、第2ターミナルやB滑走路の供用、近年では、LCCの拠点となる第3ターミナルの完成など、日本を代表とする国際拠点空港として成長を続けています。

平成30年3月には、滑走路延伸や新設などをはじめとする「成田空港の更なる機能強化」の実施が合意されました。令和元年10月には、A滑走路の夜間飛行制限が変更されました。(※)

令和2年1月の航空法に基づく空港等変更許可後、令和2年4月には、新たな滑走路に伴う騒音区域として、騒防法第1種区域が、同年10月には隣接区域が指定され、指定された区域では住宅防音工事助成制度の受付が開始されました。

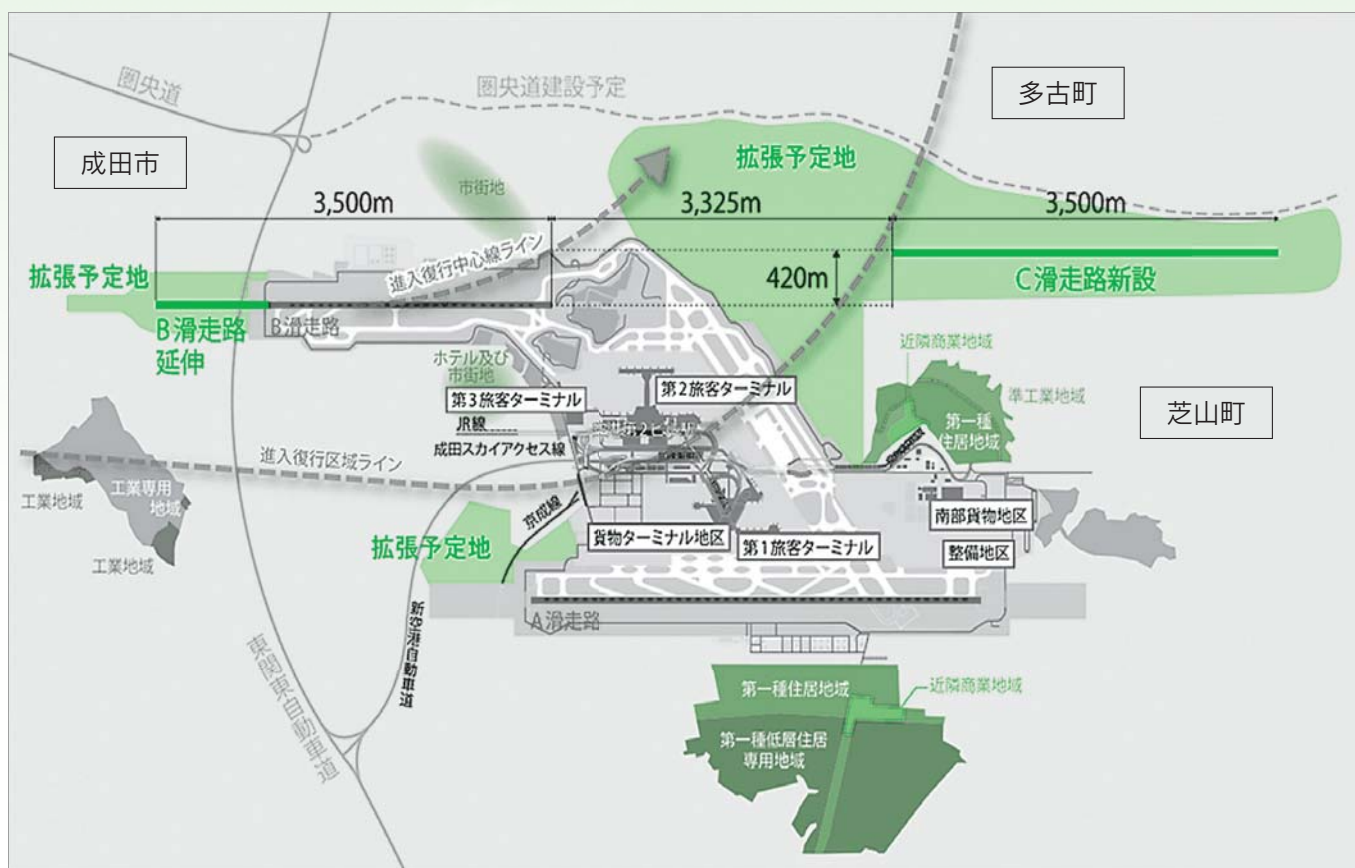
空港周辺の新たな滑走路建設予定地では、埋蔵文化財調査などの各種現地調査が始まり、令和3年12月には、成田国際空港㈱から滑走路延伸や新設などの整備計画の概要が示され、令和4年10月には、B滑走路の延伸に伴う準備工事として、東関東自動車道の切り回し道路工事が始まりました。令和5年度は、C滑走路の新設に伴う準備工事として高谷川の排水整備工事の着工が予定されています。

「成田空港の更なる機能強化」は、中長期的な航空需要に対応するため、令和10年度末の完成に向けて事業が進められています。

また、開港から45年を迎える成田空港では、日本の空の表玄関としての価値向上を目指し、旅客ターミナルの再構築や航空物流機能の高度化、空港アクセスの改善、近隣地域との一体的な発展等に関する『新しい成田空港』構想の検討が始まりました。

※A滑走路夜間飛行制限の変更 = 従来の6時から23時までの運用時間が6時から24時までと1時間延長されました。

《成田国際空港の新たな滑走路建設予定地》



※B滑走路の延伸及びC滑走路の整備については、東関東自動車道及び圏央道を含む道路等に多大な影響を与えるため、今後、関係者と協議・検討していく必要があります。
※1,000haと大規模な敷地拡張となるため、展開候補地については、今後、関係者と協議・検討していく必要があります。

出典：成田空港の更なる機能強化ホームページ「成田空港の明日を、いっしょに」

「成田空港の更なる機能強化」の詳細は、成田空港の更なる機能強化ホームページ「成田空港の明日を、いっしょに」をご覧ください。

また、令和3年12月に成田国際空港㈱から発行された「成田空港の更なる機能強化 滑走路整備計画の概要について」のパンフレットが必要な方は、企画空港課へお問い合わせください。

問企画空港課空港班 ☎84-1279



「成田空港の明日を、いっしょに」